

証券コード：2315

2026年10月期 第1四半期

# 決算補足説明資料

株式会社CAICA DIGITAL

2026年3月17日

# INDEX

01	当社概要	3
02	2026年10月期 第1四半期概要	12
03	2026年10月期 通期業績見通し	19
04	トピックス	25
05	補足説明	34

# 当社概要

Corporate Overview

01

02

03

04

05

## 会社概要

### 持ち株会社

会社名	株式会社CAICA DIGITAL
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：2315
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	50百万円
連結売上高	5,195百万円（2025年10月期）
決算期	10月

### 主要子会社

会社名	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITサービス事業</li> <li>システムインテグレーション事業</li> <li>DXソリューションサービス事業</li> </ul>
会社名	株式会社カイクファイナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>INO Fine運営事業</li> <li>カスタマーディベロップメント事業</li> </ul>
会社名	株式会社ネクス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種無線方式を適用した通信機器の開発、販売</li> <li>上記にかかわるシステムソリューション提供及び保守サービス</li> </ul>
会社名	株式会社善光総合研究所 <sup>※1</sup>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護業界のDX化支援のためのコンサルティング業務</li> </ul>

1. 株式会社善光総合研究所（以下、善光総研）は2026年2月6日付で子会社化しており、2026年10月期第1四半期業績には組み入れられておりません。なお、セグメント名は今後変更となる可能性があります。本スライドでは介護DX事業として記載します。



## 労働集約モデルからソリューションモデルへの事業転換

当社グループは、これまで、エンジニアの人数にもとづく労働集約型ビジネスが売上の多くを占めておりましたが、生成AIをはじめとする技術革新が進展する中、人的稼働に依存した収益構造から、付加価値を創出するソリューション提供型モデルへの転換を進めております。

2025年10月期には新規事業のDXソリューションを大きく拡大させました。また、M&Aによりネクスの子会社化も実行しています。

さらに、2026年2月にはM&Aにより善光総合研究所の子会社化も実現しました。

2026年10月期は、エンジニアのリスキリングを戦略的に推進するとともに、ネクスおよび善光総合研究所を中核として、コンサルティング機能とITを融合させたソリューション展開を加速いたします。

これにより、グループ横断での高付加価値サービスの創出と収益性向上を図ってまいります。

## 代表メッセージ

経済安全保障におけるサイバーセキュリティの重要性増加や生成AIの急速な進展により、企業のIT投資は高度化・複雑化の一途をたどっております。当社グループを取り巻く事業環境も大きく変化しており、従来の労働集約型のSIモデルのみでは持続的成長を実現することが困難な局面を迎えていると認識しております。こうした環境変化を前向きに捉え、当期より事業ポートフォリオの転換を本格的に推進してまいります。

2026年10月期第1四半期より、前期末に取得した株式会社ネクスを連結子会社として加え、新たなグループ体制でのスタートを切りました。ネクスが有する通信・IoT領域における技術基盤および顧客ネットワークは、当社既存事業との親和性が高く、ソリューション提供力の高度化および付加価値向上に資するものと考えております。さらに、2026年2月に子会社化した株式会社善光総合研究所も連結対象に加わる予定です。これらの施策により、グループ全体の事業領域拡張と収益基盤の多様化を図ってまいります。

2026年10月期は、従来の人的リソース依存型モデルから脱却し、

ソリューション型ビジネスへの転換を進める重要な一年と位置付けております。当社は、AIの台頭は大きなチャンスと捉えており、AIを活用することで競争力を強化し、付加価値の源泉を「人月」から「コンサルティング・ソリューション・サービス」へと進化させてまいります。そのための組織体制整備、人材育成、M&Aを着実に推進してまいります。

新たなグループ体制のもと、中長期的な企業価値向上を最重要課題として、収益構造の変革と持続的成長の実現に全力で取り組んでまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



CEO代表取締役社長 鈴木 伸

## 当社のセグメント

### ITサービス事業

株式会社CAICAテクノロジーズ

### 金融サービス事業

株式会社カイカフィナンシャルホールディングス

### IoT関連事業

株式会社ネクス

### 介護DX事業

株式会社善光総合研究所

## ITサービス事業について

ITサービス事業は当社の主力事業として売上の中核を担い、安定的に収益へ貢献してまいりました。今後は事業拡大を継続するとともに、AIの進展を見据え、人的リソース依存型モデルから高付加価値なソリューション提供型モデルへの転換を推進いたします。その中核を担うDXソリューションサービスを成長ドライバーと位置づけ、さらなる拡大を図ってまいります。

### ITサービス事業

ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しております。企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化を実現します。

### システムインテグレーション事業

金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販をはじめとした業界領域で培ったノウハウを基に、システムの企画検討から、設計・構築、運用・保守に至るまで、フロント、バックオフィスから基幹系システムを問わず最適なシステム提供をいたします。

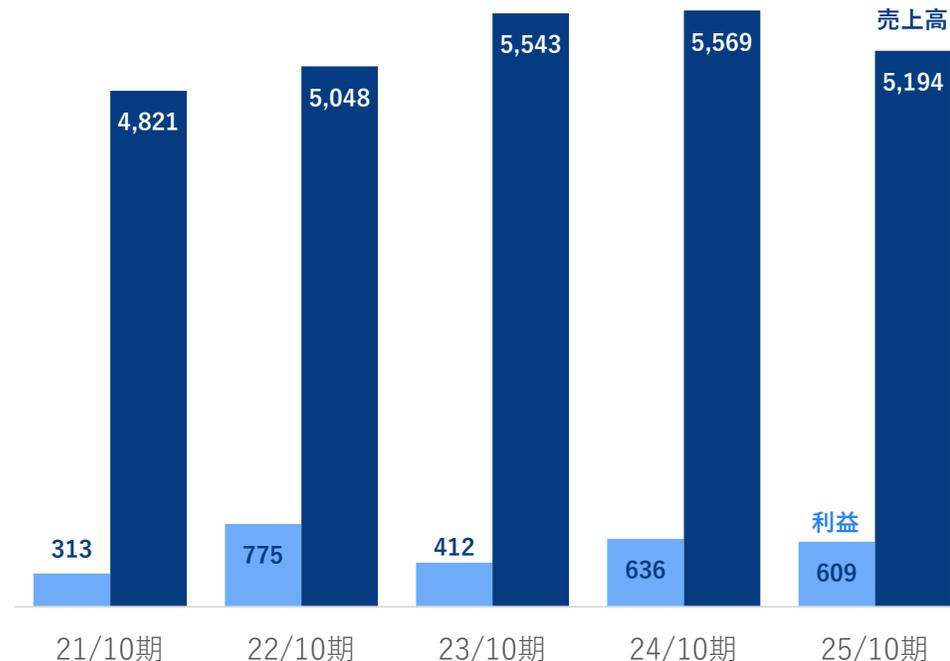
### DXソリューションサービス事業

AIを活用したDXソリューションの開発を手掛けるベンダーと提携し、DXソリューションプロダクトを提供します。

▶ [DXソリューションサービス詳細35ページへ](#)

### セグメント売上高・利益推移※1

(百万円)



1. セグメント売上高は内部取引控除後の数字を記載

## 金融サービス事業について

金融サービス事業は当社グループにおけるWEB3戦略を展開してまいりました。2023年10月期末に暗号資産交換所等を営む子会社を売却したことにより、収益構造は大きく改善しております。現在は新規事業創出に向けた先行投資フェーズと位置づけ、事業推進しております。

### INO Fine運営事業

審査制NFT販売所(一次販売)の運営を行います。INO Fine が審査することで厳選された NFT を安心してご購入いただけます。さらに、クレジットカード決済対応可能で、暗号資産をお持ちでない方でも簡単にNFT を購入頂けます。暗号資産やウォレットが不要でNFT が所有できる「NFT カード」も販売中。

▶ NFT漫画プロジェクトの取り組み 30,32ページ

### 暗号資産発行・運用事業

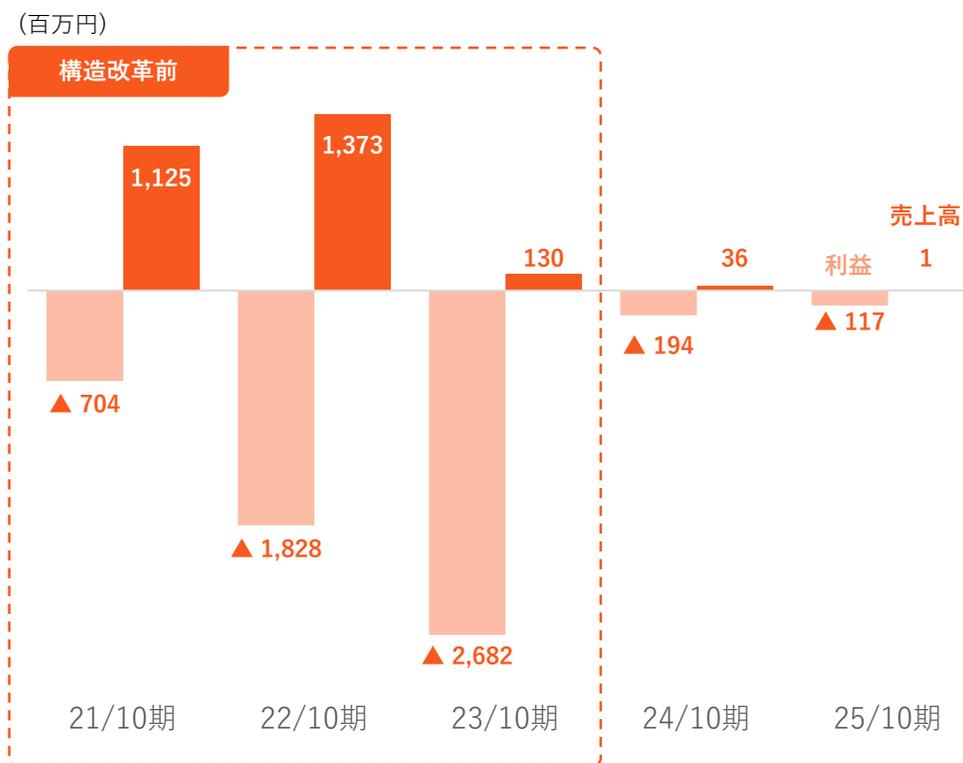
自社発行暗号資産カイカコインを活用したサービス展開を行います。カイカコインのユーティリティ向上に伴う需要の増加により収益の最大化を図ります。

▶ 当社発行暗号資産 カイカコイン概要 37ページ

### カスタマーディベロップメント事業

暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応事業です。ご相談いただいた業務内容に合わせて、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、カスタマーとの友好的関係構築を支援いたします。

## セグメント売上高・利益推移



1. セグメント売上高は内部取引控除後の数字を記載

## IoT関連事業について

IoTサービス事業では通信技術を基盤としたテクノロジーソリューションを展開し、産業機器の遠隔監視や重要インフラのバックアップ用途で信頼されるデータ通信端末を主力としています。テレマティクス事業では、OBD II 端末を活用した車両データにより安全運転指導や業務効率化を支援。さらにエッジAI領域に注力し、画像解析や5G/RedCap対応製品を通じてDXを推進しています。

### テレマティクスソリューション

OBD II を活用し、車両の速度・燃費・位置情報などのデータをリアルタイムで取得・分析する車両管理ソリューションを提供します。多様な車種や特殊車両にも対応し、フリートマネジメントや車両最適化など幅広い用途に活用可能です。

▶ 製品概要 38ページ

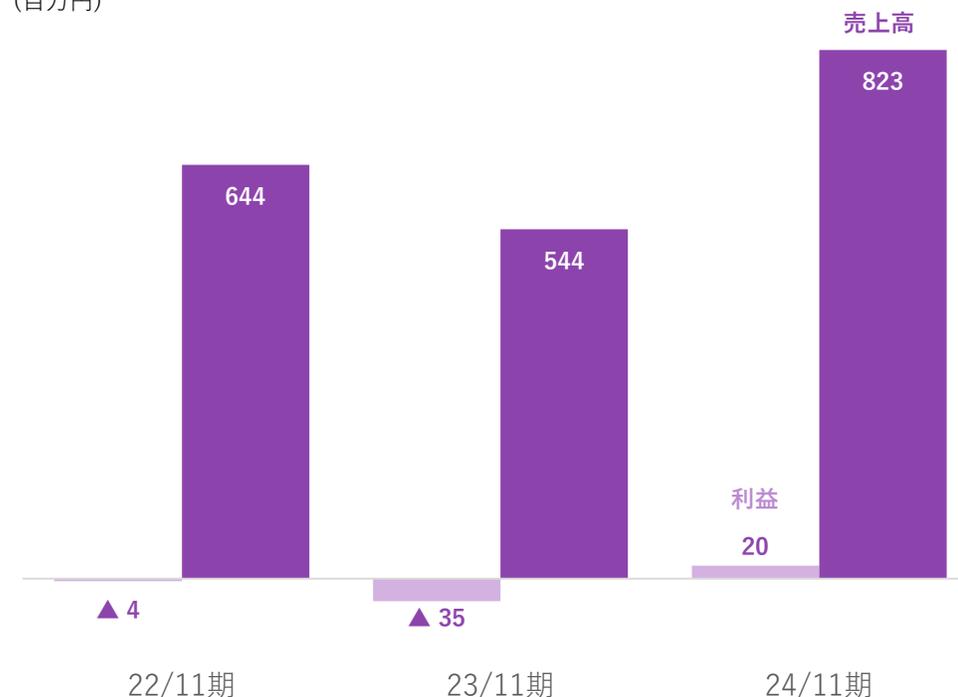
### M2Mソリューション

各種機器に無線通信機能を組み込み、機器同士がネットワークを通じて自動的に情報を交換・制御するM2Mソリューションを提供します。車両管理や自動販売機の在庫管理、設備の遠隔監視、メーター検針など幅広い分野で業務効率化を実現します。

▶ 最新の取り組み 28,29ページ

### セグメント売上高・利益推移

(百万円)



1. 当社連結子会社化する前の数値を記載

## 介護DX事業について

介護DX事業は介護現場のDX化推進を目的として、現場起点で開発された介護アプリケーション「SCOP」の開発・販売等を行っております。当社の培ってきたAI、ブロックチェーン技術、株式会社ネクスが培ってきたIoT、通信技術を融合することで、記録・請求・見守り業務を一体的に高度化し、介護現場の業務効率向上と付加価値創出を図ってまいります。

### 介護DX事業

介護の現場業務の効率化を実現するソフトウェア（SCOP）の開発販売

### デジタル中核人材育成事業

介護職員の知識・スキルを向上するための認定資格（スマート介護士）の運営

### コンサルティング事業

介護事業者のサービス向上やオペレーション効率化に向けた経営支援サービス

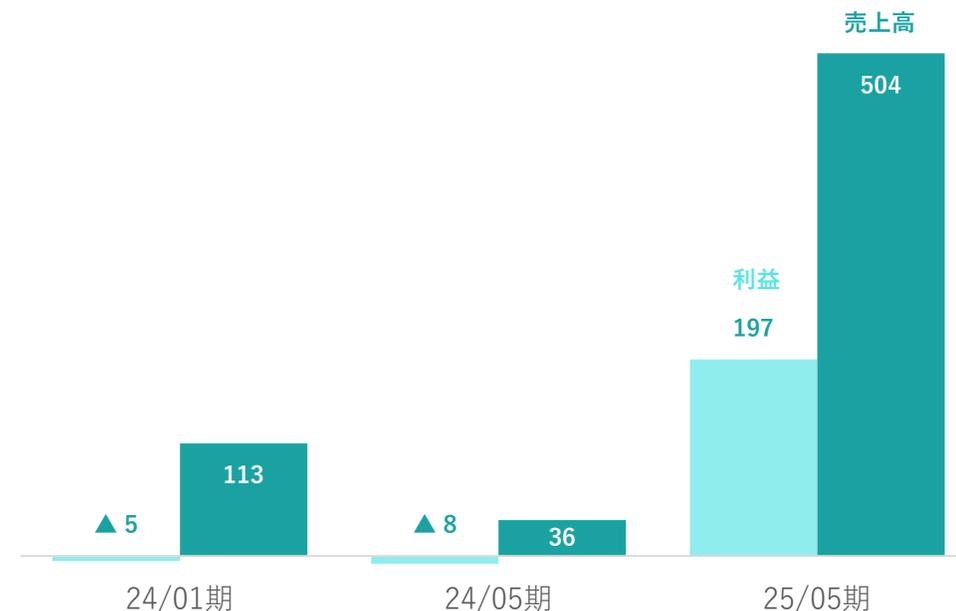
### 介護機器メーカー開発支援事業

介護事業者のサービス向上やオペレーション効率化に向けた経営支援サービス

▶ 事業詳細33ページ

## セグメント売上高・利益推移

(百万円)



1. 当社連結子会社化する前の数値を記載

# 2026年10月期 第1四半期概要

Q1 FY2026 Overview

01

02

03

04

05

## 2026年10月期 第1四半期 累計業績ハイライト

### 売上高

前年同期1,300百万

**1,510**百万円


### 営業利益

前年同期13百万円

**▲12**百万円

### 四半期純利益

前年同期10百万円

**▲9**百万円

#### 連結業績

- 売上高はITサービス事業が牽引する形で堅調に推移
- 利益面は、善光総研の子会社化に係る一時的な費用等の計上により販売費及び一般管理費が増加したことから、営業損失を計上

#### ITサービス事業

- 従来より手がけるSI事業については一定のAIの台頭は見られるものの概ね堅調な推移
- 成長事業DXソリューションサービスは受注旺盛だった結果、第1四半期時点では堅調に着地

#### 金融サービス事業

- 主にビットコイン等の活発な市場が存在する暗号資産の評価損を売上に計上したことにより、セグメント収支はマイナスの着地

#### IoT関連事業

- 安定した業績推移を継続した結果、堅調に着地

1. 本通期業績見直しには、今後、連結予定の善光総合研究所の業績影響は織り込まれておりません。影響額が算定可能となった時点で、速やかに業績予想の修正を開示いたします。

## 2026年10月期 第1四半期 連結業績サマリー

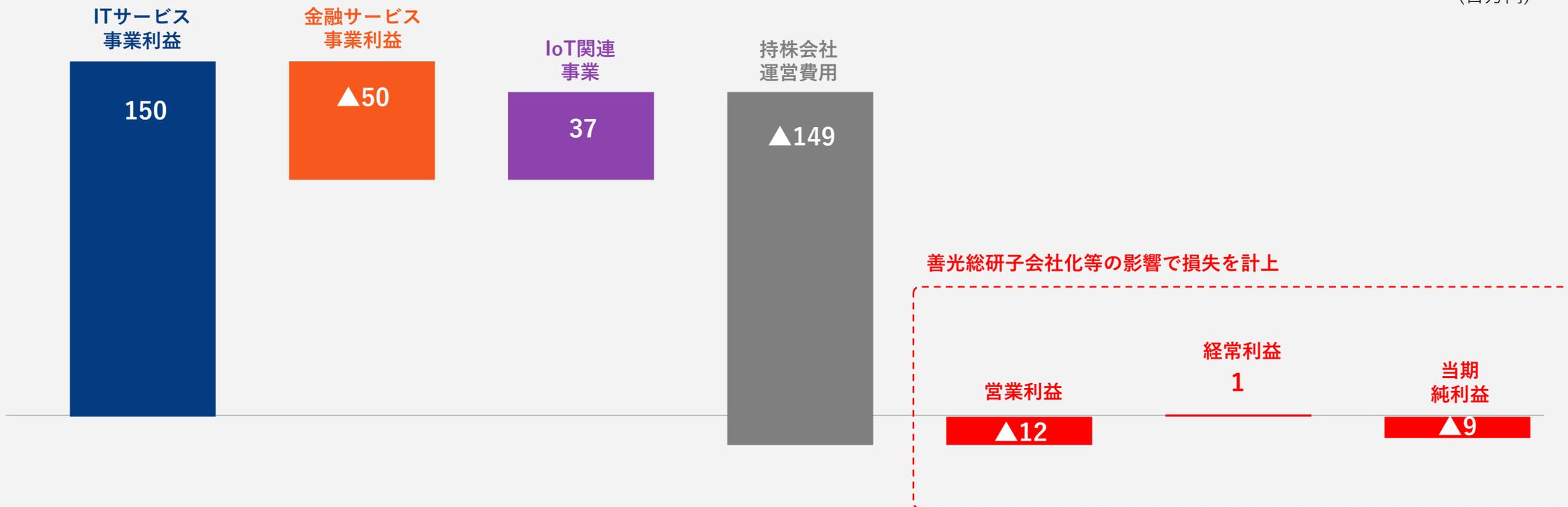
第1四半期の売上高は順調に推移しました。一方、介護DX事業として連結予定の善光総研の子会社化に伴う販管費の計上により、**営業利益は一時的にマイナス**となりました。なお、善光総研の株式取得によって生じる影響は現在精査中であり、今後、必要に応じて速やかに開示する予定です。

	25/10期 1Q実績	26/10期 1Q実績	前期比		通期見通し※1	進捗率
売上高	1,300	1,510	+209	+16.1%	6,166	24.5%
売上総利益	220	270	+49	+22.7%	-	-
売上総利益率	16.9%	17.9%	-	-	-	-
営業利益	13	▲12	▲25	-	107	-
営業利益率	1.0%	-	-	-	-	-
経常利益	16	1	▲15	▲91.6%	107	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	10	▲9	▲20	-	91	-

## 各利益の要因について

ITサービス事業およびIoT関連事業は堅調に推移し、利益面でプラスに寄与しました。一方、金融サービス事業では**ビットコイン等の活発な市場が存在する暗号資産の評価損を計上したこと等**によりマイナスとなりました。また、善光総研の子会社化に伴う諸費用等を持株会社費用に計上した結果、営業利益はマイナスとなりました。

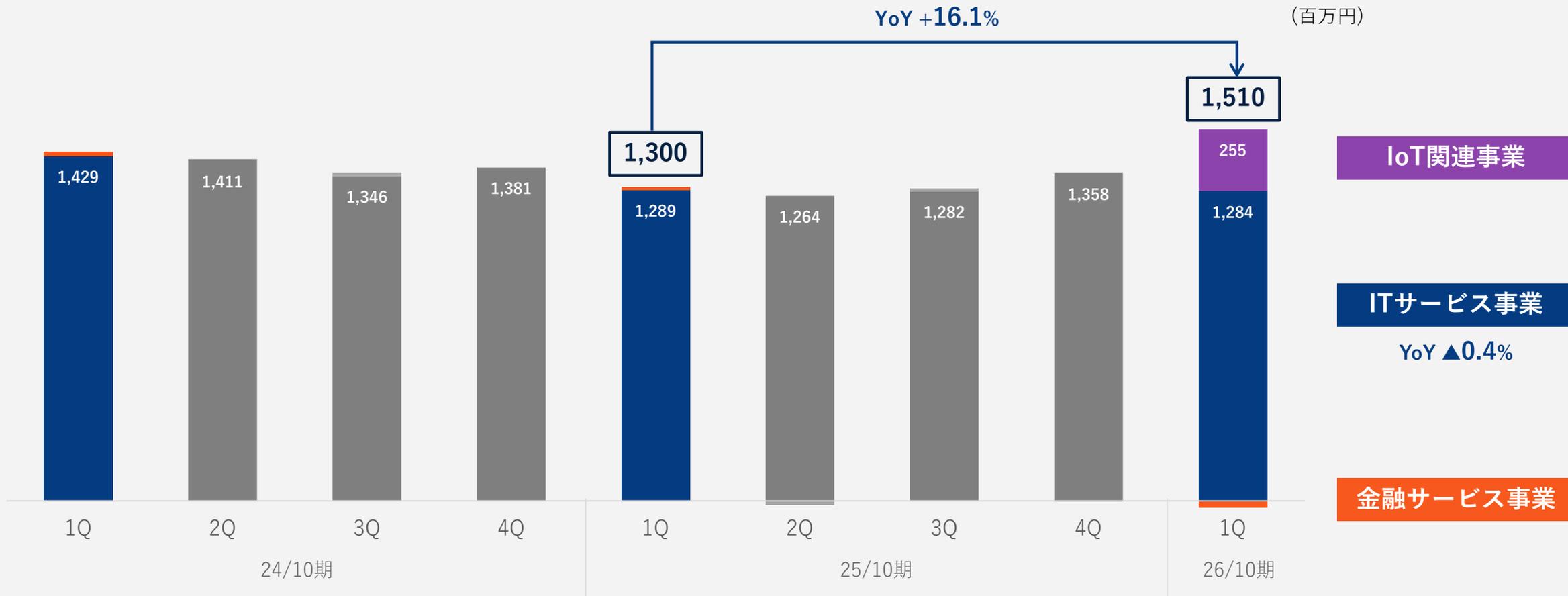
(百万円)



## 四半期毎の連結売上高推移※1

ITサービス事業は概ね前年同期と同水準で推移しました。加えて、M&Aにより取得した株式会社ネクスがIoT関連事業として連結に加わったことで、連結売上高は前年同期比16.1%増の1,510百万円となりました。

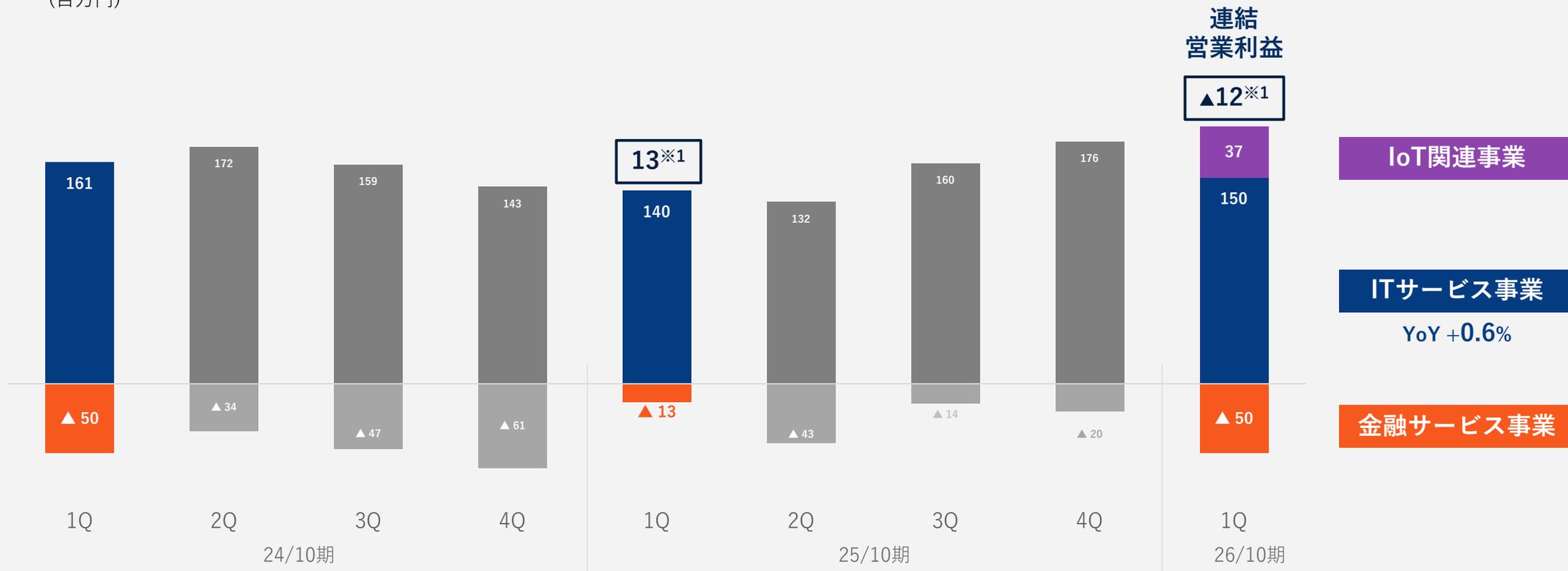
1. セグメント売上高は内部取引控除後の数字を記載



## 四半期毎のセグメント損益の推移

ITサービス事業は引き続き安定的に利益を計上しており、IoT関連事業についても過去実績を踏まえ今後も安定した利益を見込んでおります。一方、金融サービス事業ではビットコイン等の活発な市場が存在する暗号資産の評価損を計上したこと等の影響により損失を計上しました。また、善光総研の子会社化に伴う諸費用等を持株会社費用等に計上した結果、第1四半期の連結営業利益は▲12百万円となりました。

(百万円)



1. 持株会社の運営費用を主とする全社費用を含む値を掲載しております。

## 連結貸借対照表の推移について

当社グループは利益剰余金2,020百万円を中心とした株主資本を有し、有利子負債ゼロを継続しております。引き続き高い自己資本比率を維持しており、安定した財務基盤を確保しております。

(百万円)	25/10期末	26/10期 1Q	前期末比		25/10期末	26/10期 1Q	前期末比
<b>資産の部</b>	4,287	4,155	▲131	<b>負債の部</b>	676	618	▲57
内 現預金	639	888	▲249	内 有利子負債	-	-	-
				<b>純資産の部</b>	3,611	3,537	▲74
				内 株主資本	3,429	3,418	▲10
				<b>自己資本比率</b>	84.2%	85.1%	-

# 2026年10月期 通期業績見通し

FY2026 Full-Year Outlook

01

02

03

04

05

## 2026年10月期 通期業績見通しサマリー

当期はIoT関連事業としてネクスが加わることから、売上高は前期比18.7%増の6,166百万円を見込んでおります。一方、前期に計上した特別利益は当期は予定していないため、純利益は減益を見込んでおります。なお、本見通しには善光総研子会社化の影響は織り込んでおらず、判明次第速やかに開示いたします。

	25/10期 実績	26/10期 業績見通し	前期比	
売上高	5,195	6,166	+970	+18.7%
営業利益	70	107	+36	+52.9%
営業利益率	1.4%	1.7%	-	-
経常利益	76	107	+30	+40.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	166	91	▲75	▲45.2%

## 2026年10月期 業績見通しの根拠

### 2025年10月期 業績動向

### 2026年10月期 業績見通し

#### 連結

- 売上高はITサービス事業において新規事業であるDXソリューションサービスが伸長した一方、従来事業が軟調に推移した結果、減収。
- 当期純利益は特別利益の計上により大幅な増益。

- ソリューション売上高比率の拡大によりビジネスモデルの転換を図る。
- 売上高はITサービス事業におけるDXソリューションサービスのさらなる拡大に加え、株式会社ネクスの連結組み入れにより、増収を見込む。
- 当期純利益は特別利益の計上を想定していないことから、減益を見込む。

#### ITサービス事業

- 従来事業は高収益案件の選別を積極的に進めた結果、減収。
- DXソリューションサービスは想定どおり堅調に推移したものの、一部ハードウェアの納品遅延により、売上計上の期ずれが発生。

- 前期に大きく成長したDXソリューションサービスのさらなる売上高の拡大を目指す
- 営業体制の強化により新規の高収益案件の獲得を図るとともに、既存顧客からの受注拡大を目指す。

#### 金融サービス事業

- NFT漫画プロジェクトにおける事例拡大を通じて、NFTのユースケース拡大を実現。

- 引き続き成長投資フェーズと位置付け。
- NFT漫画プロジェクトのさらなる事例拡大を進めるとともに、新たなNFTユースケースの創出を図る。

#### IoT関連事業

(2025年10月に子会社化)

- ITサービス事業の既存顧客に対するクロスセルを起点とした販路拡大を通じて、中期的な業績成長を目指す。
- ソフトウェアに強みを持つCAICAグループとのシナジーを最大限に活用し、新たな製品開発を推進。

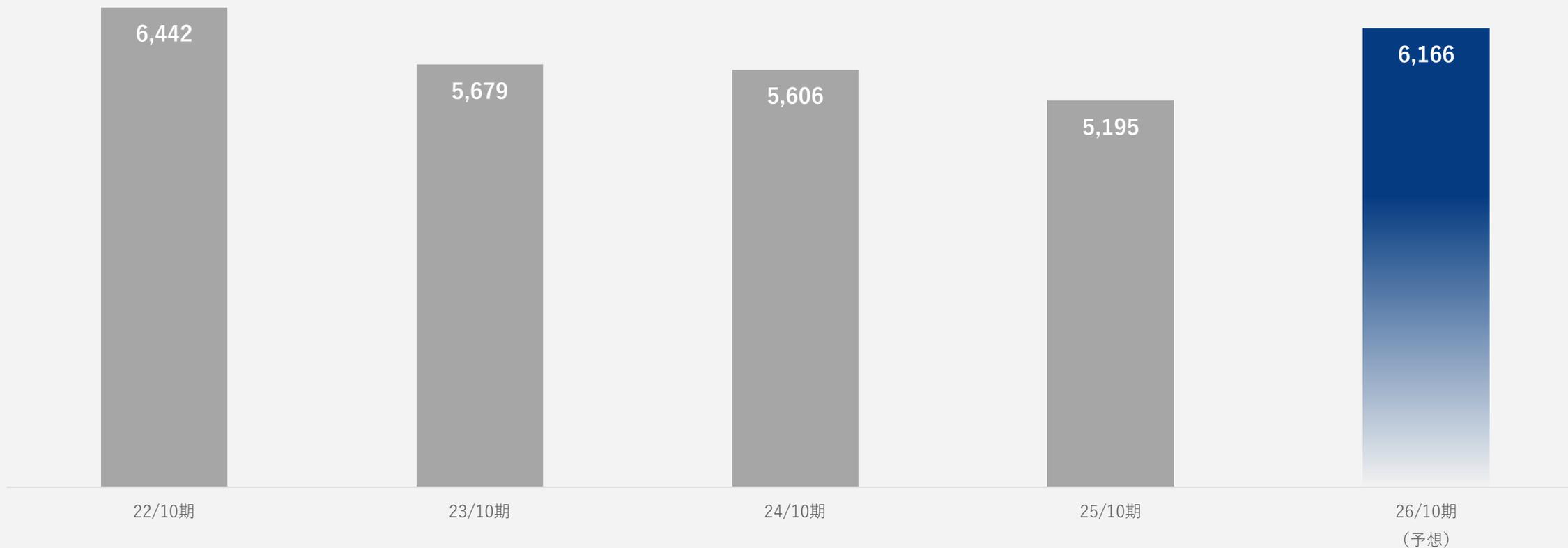
#### 介護DX事業

(2026年2月に子会社化)

- ITサービス事業、IoT関連事業とのシナジーを活用し、スマート介護プラットフォーム「SCOP」の次世代化、AIを活用したデータ分析によるコンサルティングの拡大を目指す。
- 行政・現場・研究を結ぶ中核企業として、全国の介護事業者や自治体などに向けて、DX支援を進める。

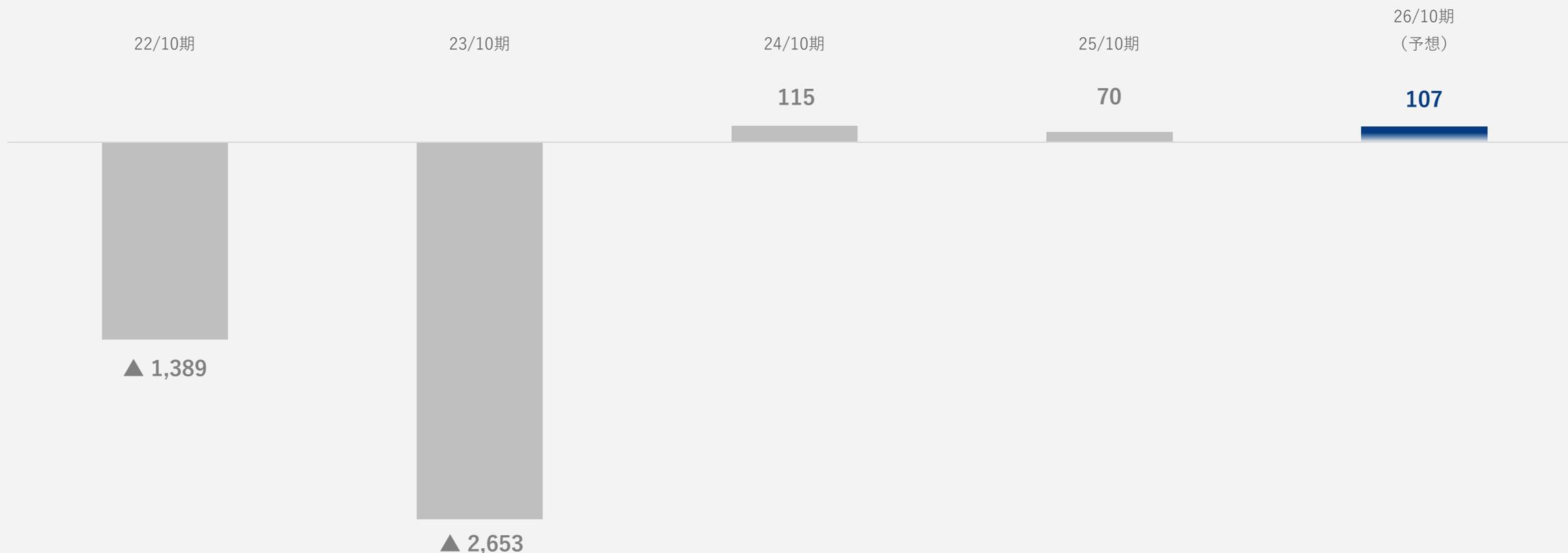
## 通期売上高の推移と要因

事業再編に伴う子会社の売却などの影響により直近数年は売上高は横ばいの傾向にあります。2026年10月期はITサービス事業の伸長および、M&Aにより取得した株式会社ネクスの連結組み入れにより売上高の拡大を図ります。



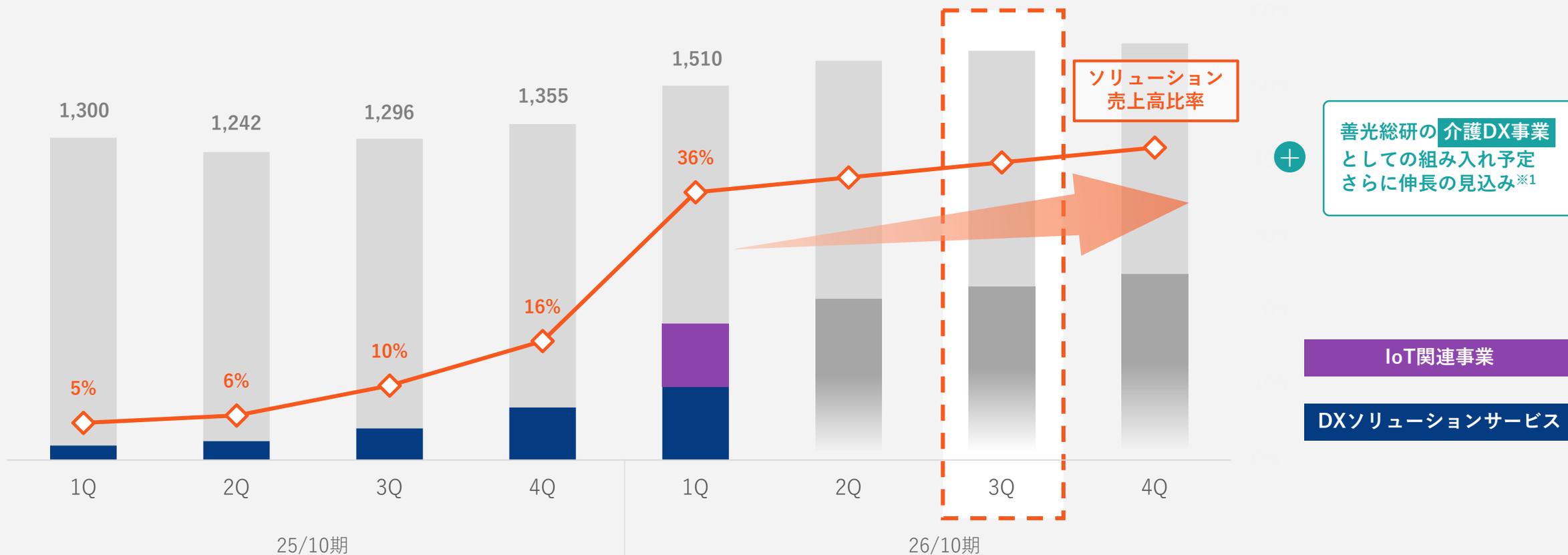
## 通期営業利益の推移と要因

2023年10月期までは、金融サービス事業における暗号資産交換所運営などの先行投資を主因として、大幅な赤字を計上していました。一方、2024年10月期以降は、ITサービス事業が業績を牽引し、安定的に黒字を計上しています。2026年10月期は、これに加えて、M&Aにより取得したネクス及び善光総研が連結業績に寄与することで、さらなる業績拡大を目指します。



## 四半期間ごとの連結売上高に対するソリューション売上高比率の拡大について

当社はDXソリューションの拡大を通じ、従来の労働集約型からソリューション型へのビジネスモデル転換を進めております。今期はIoT事業としてネクスが連結に加わり、今後は善光総研も連結予定であり、ソリューション型事業の売上比率は一段と高まる見込みです。今後も同事業の伸長により比率向上を図ります。



1. 善光総研の業績取込時期につきましては、現時点で想定しているものであり、今後変更の可能性もあります。

# トピックス

Topics

01

02

03

04

05

## 対日理解促進交流プログラムJENESYS

株式会社善光総合研究所は、2026年3月12日に株式会社ビーブリッド主催のシンポジウム「海外展開を見据えた介護テクノロジーの研究開発」に登壇いたします。本シンポジウムでは、日本における介護テクノロジーの研究開発や社会実装の事例が紹介され、当社は海外展開を視野に入れた研究開発の取り組みについて紹介する予定です。



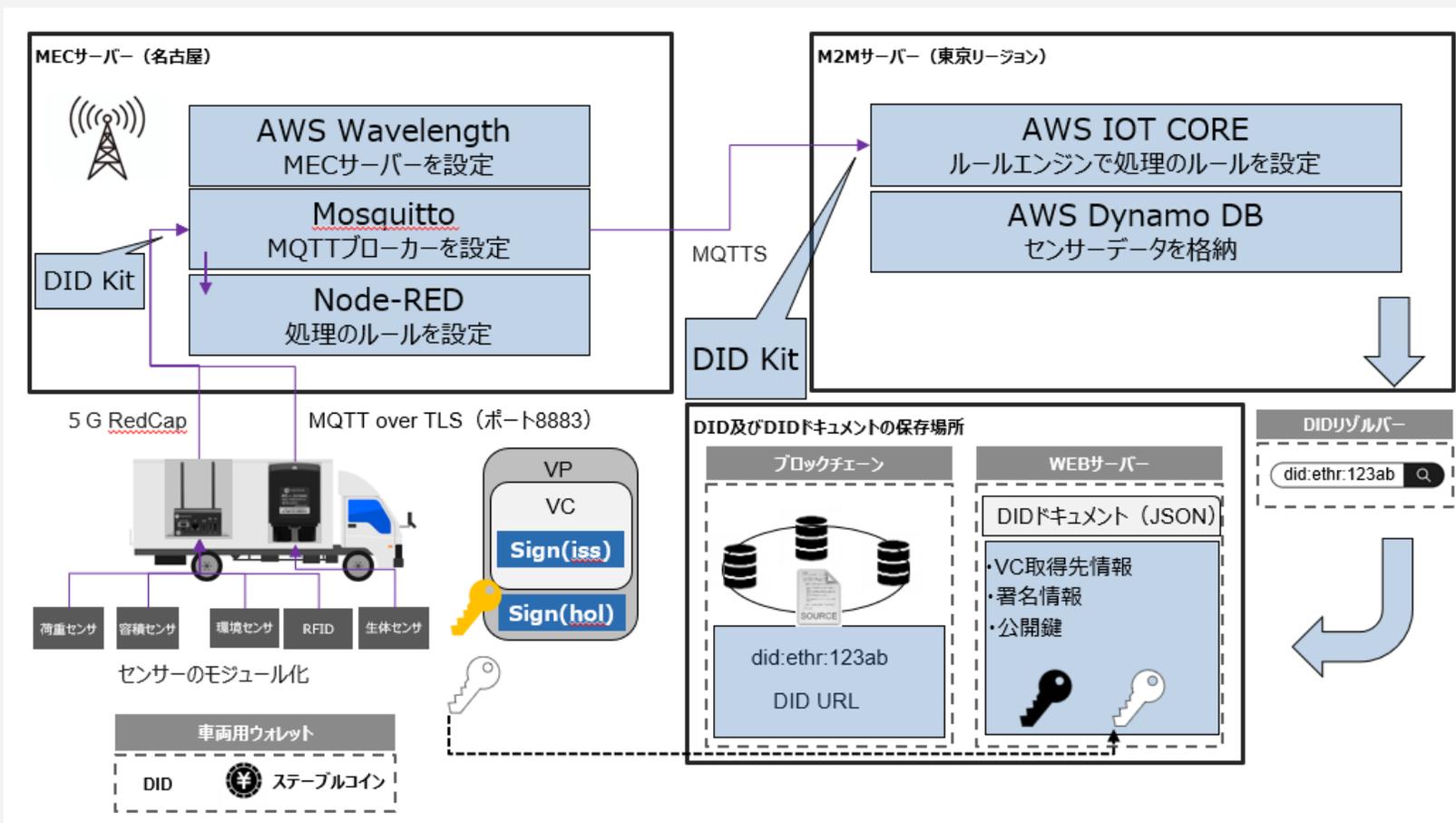
## CAICA テクノロジーズ、DID/VC アプリの社内試行を開始

ITサービス事業のCAICAテクノロジーズは、分散型ID（DID）および検証可能な資格情報（VC）を活用したデジタルIDアプリの社内試行を開始しました。社員の表彰実績、デジタル名刺、技術経歴などをVCとして管理し、自己主権型IDを基盤とした次世代社内DXの実証を進めます。



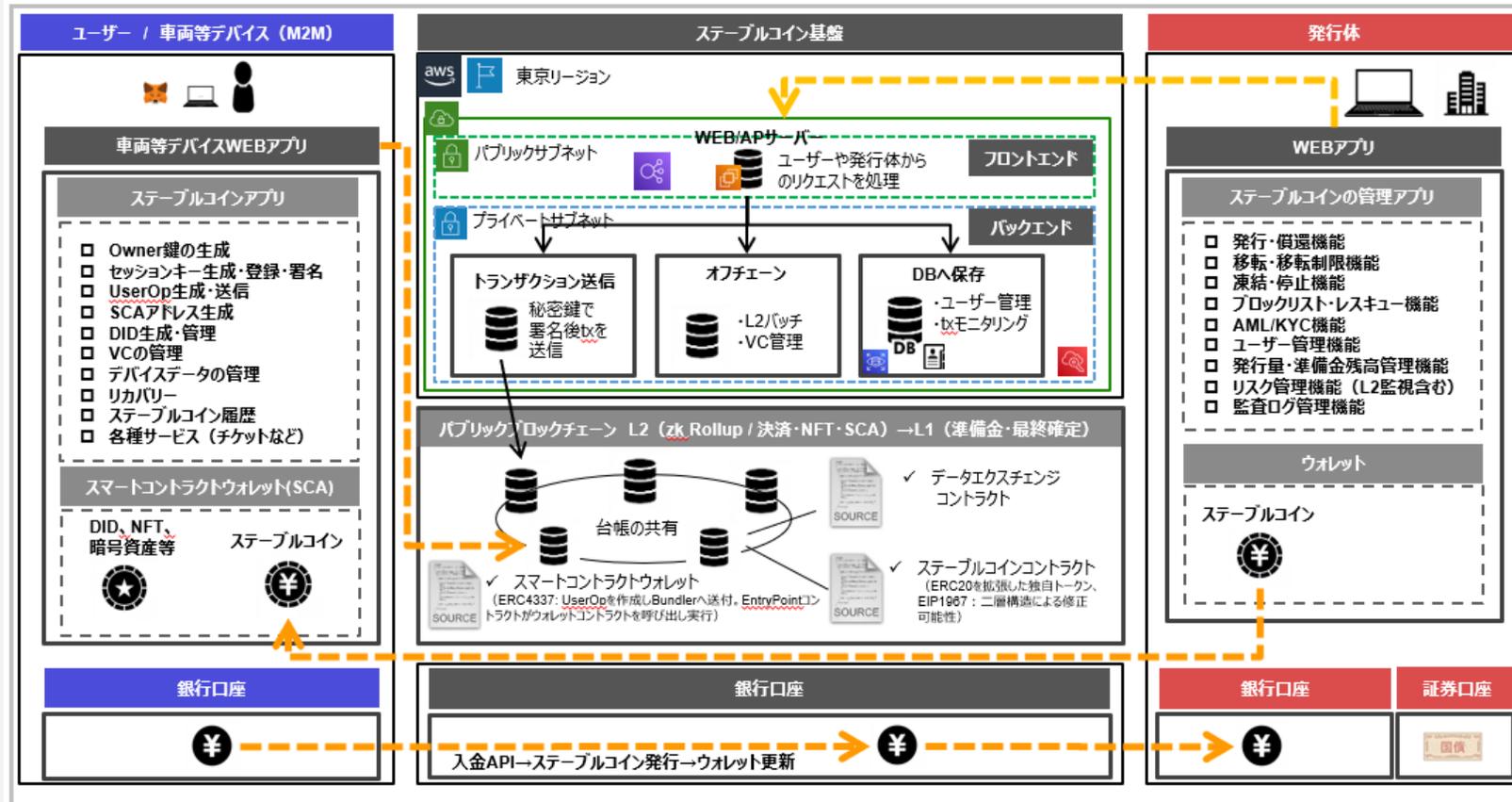
## Web3型IoT統合ソリューション PoCフェーズ3完了

ITサービス事業とIoT関連事業が共同で推進する「Web3型IoT統合ソリューション」において、PoCフェーズ3を完了しました。本フェーズでは車両やIoTデバイスに分散型ID (DID) を付与し、ブロックチェーンを活用したM2M認証基盤を構築しました。5G RedCap×MQTT通信とDID/VCによる分散型認証を統合し、企業間連携が可能な信頼性の高いM2M通信基盤を確立しました。



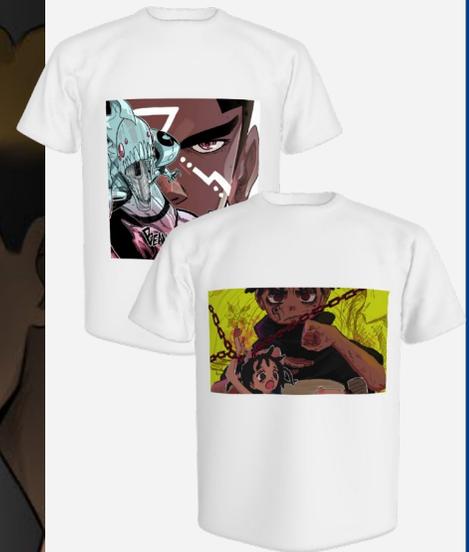
## M2M自動決済に向けたステーブルコイン基盤のPoC開始

当社は、Web3型M2M基盤と接続可能なステーブルコイン基盤のPoC（概念実証）を開始しました。本取り組みでは、IoTデバイスがDIDとウォレットを保有し、デバイスデータをトリガーとして自律的に決済を行うM2M自動決済の実現可能性を検証します。5G通信や分散型認証基盤と連携し、IoT機器が経済主体として取引を行う次世代IoT経済圏の基盤構築を目指します。



## NFT漫画プロジェクト「NFT MANGA PROJECT in AFRICA」開始

NFT事業の取り組みとして、アフリカのクリエイターと連携した「NFT MANGA PROJECT in AFRICA」を開始しました。本プロジェクトではNFT漫画作品の販売に加え、作品IPを活用したデジタルコンテンツやグッズ展開を推進します。NFTを活用したクリエイター支援とコンテンツビジネスの創出を通じ、グローバルなWeb3コンテンツ市場の開拓を目指します。



▶特設サイトはこちら  
<https://zaif-ino.com/media/nft-manga-africa-lp/>

## 審査制NFTローンチパッド「INO Fine」へブランド刷新

当社子会社カイカフィナンシャルホールディングスが運営する審査制NFTローンチパッド「Zaif INO」は、サービス名称を「INO Fine」へ変更しました。NFT販売に加え、クリエイターのインキュベーションやグローバルプロジェクト支援など事業領域を拡大しており、ブランド刷新を通じてWeb3時代における新たな価値創出プラットフォームとしてさらなる成長を目指します。

INFORMATION

サービス名称変更のお知らせ

 ▶ 

2026年2月13日(金)

# NFT漫画プロジェクト作品一覧

金融サービス事業の新サービスNFT漫画プロジェクトは、サービス開始来8作品をリリースしてまいりました。今後も継続して新しい作品の誘致を進め、INO Fineの認知向上を図るとともに、取扱高の向上に努めます。

漫画家 仙洞田寛  
初出版応援 プロジェクト

らいみるちゃん

Success!

電子漫画出版決定!

NFT漫画  
第2弾

新人漫画家 Shino  
作品名『Signals(仮)』

Success!

NFT漫画出版決定!

井上いちろう先生 参加  
NFT漫画  
プロジェクト  
第3弾

Success!

電子漫画出版決定!

第4弾

『柁』  
タイトル  
新人漫画家 小森しやお

Success!

電子漫画出版決定!

NFT漫画  
プロジェクト  
第5弾

ひとり+いっぴき  
PRESENTED BY  
大原ななこ

プロジェクトページへ

NFT漫画  
プロジェクト  
第7弾

会社員 玖島川の日常  
SNSで話題の  
読むマンガ

会社でミスした時に  
読むマンガ

kalsheim  
kujimagawa  
no nichijo

プロジェクトページへ

NFT漫画  
プロジェクト  
第6弾

新人漫画家 竹谷登人  
が  
出版を目指す!!

『プールサイドデイズ』

プロジェクトページへ

NFT漫画プロジェクト  
第8弾

アフリカ少年が日本育った結果

星野ルネ

プロジェクトページへ

## NFTカード活用事例の展開

当社はWeb3のパイオニアとして、NFTを活用した多様なソリューションを展開してきました。これまでに蓄積したノウハウを活かし、新たにNFTカードを活用したサービスの提供を開始しました。本サービスは、NFTカードを通じてファンとの接点を強化し、ファンマーケティングの高度化・加速を支援するものです。

### ラグジュアリー



高級時計やバッグに同梱されたカードをタッチするだけで正規品かどうかわかる。転売時も一瞬で権利移転。

### アート&コレクション



作品画像とエディション番号をスマホ表示。安心して売買でき、作家にも収益が循環。

### 保証・公的書類



車両所有権や家電保証をカードに集約。名義変更・整備履歴の更新もスマホで完結。

### 会員制サービス



レストランやホテルで提示すれば即チェックイン。行けなくなった会員権は譲渡して資産化。

### ロイヤリティ/小売



ユーザーが来店したり購入スタンプを集めるとクーポンが自動発行。お客様に選ばれるブランドへ。

### イベント&チケット



入場ゲートはワンタッチ。カードに限定ライブ映像が自動追加され"デジタル記念品"に。

# 補足説明

Appendix

01

02

03

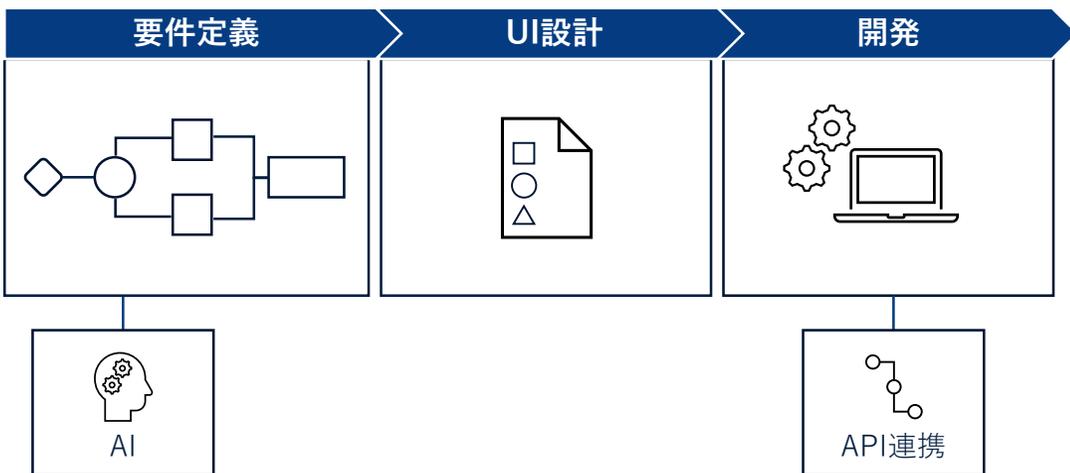
04

05

## ITサービス事業の成長エンジン「DXソリューション」について

2024年10月期末より始動したDXソリューションサービスは、収益の柱であるITサービス事業における成長ドライバーとして位置付けております。DXソリューションサービスを起点として、顧客の根本課題を把握することで従来以上の価値を顧客に提供できるものと考えております。

PEGAのソリューションを活用して  
クライアントとの業務フローを包括して改善



HCLのソリューションを  
クライアントとのニーズに応じて導入



PEGA社、HCL社からの案件の紹介および、既存クライアントへのクロスセルにより、既に期初計画を上回るリードを獲得  
今後、新規採用により人員を増員することで、今以上のペースで受注を拡大する計画

## 金融サービス事業について

当社の金融サービス事業は一貫してWeb3領域における新規事業の開拓を行ってまいりました。審査制NFTローンチパッド「INO Fine」の運営および、自社発行暗号資産「カイカコイン」を活用したサービスの展開などを行っております。今後、INO Fineを中心に事業を拡大するとともに、カイカコインのユーティリティを向上させることで、Web3事業の成長を図ってまいります。



### INO Fine会員特典



#### Now Available



電子書籍読み放題

#### Now Preparing



協賛店で特典獲得



特別なイベントに招待



特別なNFTを配布

## 金融サービス事業 - カイカコインについて※1

カイカコインは、当社が発行するイーサリアムネットワーク上のERC20規格に準拠した暗号資産で、2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン化を実現しました。現在は国内暗号資産交換所Zaifに上場しており、8年に及ぶ運用実績を有します。当社は上場企業としての責任のもと、活用シーンの拡大を通じてカイカコインの価値向上に取り組んでまいります。

### カイカコイン発行状況

発行済枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内)
時価総額※2	570百万円
取引価格※2	0.9JPY/CICC

1. 本頁記載の内容は情報の提供を目的としており、暗号資産の投資勧誘を行うものではないことをご了承ください。
2. 2026年3月16日現在の時価、及び現時価を参考に算出

## IoT関連事業の製品紹介

ネクスは、通信技術を基盤としたテクノロジーソリューションを展開し、産業機器の遠隔監視や重要インフラのバックアップ用途で信頼されるデータ通信端末を主力としています。テレマティクス事業では、OBD II 端末を活用した車両データにより安全運転指導や業務効率化を支援。さらにエッジAI領域に注力し、画像解析や5G/RedCap対応製品を通じてDXを推進しています。

### データ通信端末



「インターネット接続機器」に留まらず、社会インフラ産業機器を支える「止まらない通信」を支えています。

- 複合機の遠隔監視  
トナー残量や故障予兆をメーカーへ送信
- 重要インフラのバックアップ  
ATM、POSレジ、データセンターなど
- 高セキュリティテレワーク環境実現

### テレマティクス



自動車のOBD II コネクタに接続する専用端末を提供し、車両情報をクラウドへ送信します。

- 社用車、レンタカー、リース車両の状況をクラウドへ記録します。
- 安全運転指導  
急ブレーキ、急発進、急ハンドルなどを検知してクラウドへ記録
- 車両管理  
走行ルート、アイドリング状況を記録

### AI・受託開発



「エッジAI」機器開発、顧客要望による「専門端末開発」を行います。

- カメラ映像などをクラウドに送る前に、エッジAIにより処理を行います。
- 鉄道の混雑検知  
車両ごとの混雑状況の算出
- 人流解析  
商業施設での顧客属性の解析
- 体験型デジタルサイネージ  
属性に応じたコンテンツの配信

## 株式会社善光総合研究所の事業概要

善光総合研究所は、介護現場のDX化推進を目的として、現場起点で開発された介護アプリケーション「SCOP」の開発・販売等を行っており、すでに1,000以上の介護施設様にご利用いただいております。当社が得意とするAI、ブロックチェーンと、ネクスのIoT通信技術を融合することで、SCOPをさらに高度化し、介護現場の業務効率向上と付加価値創出を図ってまいります。

### スマート介護プラットフォームの次世代化

善光総研が開発提供する介護現場の業務効率化及び記録業務のデジタル化を実現する総合介護ソフトウェアである「SCOP」プラットフォームをベースに、当社グループのブロックチェーン、IoT通信技術を組み込み、「介護機器データ+利用者記録+施設運営データ」を統合管理し、トークンインセンティブやサービス価値可視化モデルを構築。

### 施設向けIoT/通信ソリューション提供

当社グループが手掛けるIoT、M2M及び5G通信モジュール等を、善光総研が運営する、利用者の行動分析を行うセンサー機器や利用者の移乗を助ける介護ロボット機器などの実証環境「Care Tech ZenkoukaiLab」に導入・実証。見守りセンサー等で取得したデータをセキュアな通信環境によりクラウドに集約し、データ分析可能とするソリューションを介護現場へ展開。

### 金融サービス+介護サービスパッケージ

高齢化社会において、サービス利用者が安心かつ快適に使える施設が持続的に運営できるような仕組みとして、当社グループのデジタル金融のノウハウを活かした支払い・報酬・人事評価連動のインセンティブ体系などを善光総研と研究。



介護DX事業



デジタル中核  
人材育成事業



コンサルティング  
事業



介護機器メーカー  
開発支援事業

### データ分析・AI活用による価値提供

当社グループのDX・ビッグデータ技術と善光総研の介護現場知見で、介護施設でIoTにより取得されるリアルタイムデータ（介護機器からの計測データ/介護記録データなど）を用い、AIモデルによる業務改善・予測（人材配置、転倒予防、入浴支援最適化など）を共同開発し、善光総研の顧客に販売。

### 介護向けコンサルティング事業の体制強化

当社グループのIT実装から運用まで一貫通貫で対応可能なコンサルタント部隊と、善光総研が持つ介護事業所経営改善・DXコンサルティングのノウハウ（スマート介護士育成カリキュラム等）が連携。これにより、システム導入にとどまらない組織変革（BPR）支援の体制を強化し、コンサルティングサービスの顧客層を拡大。

## 本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の決算情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
- 本資料は一部(百万円)または(千円)以下を切捨てて掲載しております。一方、前期比等については切捨て前の数字を参照し任意の位で四捨五入をした上で算出した数値を掲載しております。